



学校だより



青梅市立東小中学校
令和3年度 第12号
3月19日(土)

「無限の可能性」を感じさせてくれた、素晴らしい小学6年生・中学3年生
ご卒業おめでとうございます！

校長 川窪 公夫

学園の桜もほころび始め、春の訪れを告げています。はじめに、新型コロナウイルス感染症の出口が見えず、厳しい状況の中、保護者の皆様の御出席をいただき、第20回卒業式を迎えることができました。残念なことは、2学期の終業式で歌ってくれた見事な校歌を披露させてあげられないことです。しかし、こうして、卒業式を行えることに感謝したいと思います。

改めまして、卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。今、卒業生の皆さんは、堂々と、そして、晴れやかに卒業証書を受け取りました。保護者の皆様も立派に成長した卒業生の姿に喜びもひとしおだと思えます。

卒業生の皆さんは、自分の課題と向き合うことで、苦労と喜びを心に刻みながら、今日まで成長の日々を過ごしてきました。一つ一つの出来事・思い出は、今の皆さんをつくるパズルの一片であり、どれも欠くことができないものです。特に、コロナ禍の困難にあっても、学校生活に全力で取り組む姿が立派でした。真面目にそして、一生懸命に授業を受ける姿勢や元気の良い挨拶など常に下級生のお手本でした。下級生は皆さんの背中を追いかけはじめています。

さて、弱いロボット作りで有名な豊橋技術科学大学の岡田先生の話を紹介したいと思います。一般的には、ロボットと言えは、「あれもできる」「これもできる」というようにできることが強調されます。しかし、岡田先生の作るロボットは、自分だけでは問題を解決できません。例えば、ゴミ箱ロボットには、腕がないので、ゴミが拾えません。ゴミのある場所で、モゴモゴと意味不明な言葉を発して、ゴミが落ちていることを周囲に知らせます。ロボットの言葉が幼い分、「困っているのかな。ほっとけない。」という人間の優しさが引き出されて、結果、ゴミを拾うという目的を達成するのです。ロボットの目的達成を手伝った人間も嬉しさを感じるので、お互いの関係性をプラスに高める取組です。実は、岡田先生は、ロボットを通して、マイナスと捉えられがちな「弱さ」を生かし、強い関係性を生む研究をしているのです。本校の教育目標の一つである「自立」は、「誰の手も借りずに、一人で行えること」ではありません。「人に頼ることも含めて、自らの課題を解決していくこと」が困難を乗り越える力だと思えます。ただし、岡田先生は、「やってあげる人」「やってもらう人」「教える人」「教えられる人」というように役割が分かるとそれは、間違った関係性になると言っています。お互いが、それぞれの「弱さ」を共有し、認め合いながら、どちらも支える側・支えられる側にもなる社会づくりが大切だと語っています。

皆さんには、これから多くの出会いが待っています。出会いを大切に、ときに頼り、ときに頼られながら、「夢の実現に向かって」、困難を乗り越えてほしいと思えます。私は、皆さんの成長していく姿を通して、改めて人間には無限の可能性のあることを強く感じさせてもらいました。卒業生の皆さんに心から感謝しています。

そして、皆さん一人一人には君にしかできない尊い使命があります。「自分らしく輝きながら」本校の教育が目指してきた社会で通用する力を「自分の幸せと自分につながる全ての人の幸せのために」使える人になってほしいと私達教職員は、願っています。皆さんの前途に幸多きことを心より祈っています。結びに、本校の子ども達のために、日々、ご尽力いただいている前川園長先生をはじめ学園の先生方、温かく見守ってくれた高等部の皆さんに御礼申し上げ、式辞いたします。

(令和3年度 卒業式式辞)



3月7日(月)中学3年生が充実したボランティア活動を行って来ました。

中学校初の校外学習として、3年生が羽村市動物公園でボランティア活動に取り組みました。毎日の学校・学園生活で培(つちか)って来た力を校外で発揮する機会を作りたいとの思いから企画した行事です。園長の佐藤先生が行事の目的に共感を寄せてくださり、本来、閉園日であるにも関わらず、快く生徒達を受け入れていただきました。生徒達は、落ち葉で埋まった遊歩道の復旧活動やたい肥づくりに手を抜くことなく頑張りました。生徒達からは口々に“楽しかったー。”との声が聞かれ、身に付けた力を存分に発揮した手応えを感じました。昼食後は、園内散策でレッサーパンダをはじめ可愛い動物達を見ることもできました。終わりの会では、園長先生の講話で、「明日から、皆さん全員を雇いたい！」という嬉しい冗談をいただく程、誉めていただきました。羽村市動物公園の皆様へ感謝します。

【生徒の感想(一部、抜粋=抜き出すこと)】

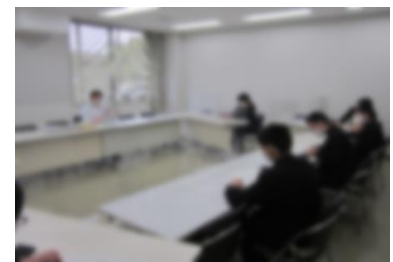
- 腐葉土の袋詰め、教えてくれる人が、女子には無理だよと言っていました。普段から物づくりで作業をやっているお陰で、最後には、「凄い。この学校の子は凄いね。」と言われて、とても嬉しかったです。
- 道づくりの作業は、楽しかったので集中して取り組みました。自分達で作った道を来園した人達が通ってくれると思ったら、やって良かったと思うことができました。
- よく学園でも美化デーの時に落ち葉掃きをするけど、そこで出来たことが動物園の職員の方にも見てもらってとても良かったです。
- 園長さんと田中さんのお話を聞いて共通していると思ったことは、めぐりめぐって夢が叶ったところです。
- 夢や目標をもつのは遅くても叶うんだと思いました。



3月8日(火)中学1年生と中学2年生・・・進路学習に取り組みました

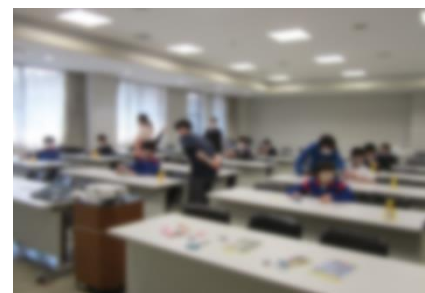
【1年生】前川園長先生と栄養士の小野塚先生に職業インタビューを行いました。生徒達は、メモを取りながら、先生の話に真剣に耳を傾けていました。生徒からは、「一番印象に残った事は、僕達の成長を見る事、聞くことが一番のやりがいという園長先生の言葉でした。」「栄養士の仕事は、大変なこともあるけど、いつでも笑顔で優しさを配れるところに、私は、素晴らしいと感じました。」などの感想が寄せられました。将来や職業を考える良い機会を作っていただいた園長先生、小野塚先生に感謝いたします。

【2年生】コロナ禍の折、残念ながら高校の先生をお呼びできず、昨年度、録画した映像を通しての学習となりました。生徒達は、高校の学科や単位取得のこと、高校生活の様子などの話に集中力を発揮してよく聞いていました。一年後の進路を考える上でとても参考になるお話を聞くことができました。



3月10日(木)小学生が今年度最終回の「わんぱくクラブ」を楽しみました

今回のわんぱくクラブは、一年間のまとめとして、思い出の写真を飾るためのフォトフレーム・デコレーションに挑戦しました。好みのシールを貼ったり、マジックで色を塗(ぬ)ったりして、きれいに仕上げました。小学6年生は集中力に優れた取組を見せてくれました。最後に、一年間のわんぱくクラブの様子をスライドショーで見て、思い出に浸(ひた)りました。運営していただいた学園の先生方に御礼申し上げます。



【御礼】1年間、学校だよりをお読みいただき、ありがとうございました。